

岩田国夫

Iwata Kunio

県政詳報

Prefectural administration detailed information

みなさまと共に安全で安心できるまちづくり

【21世紀】

2023年 新年号



【発行所】岩田国夫事務所

〒632-0033 奈良県天理市勾田町253-6
TEL.0743-63-6220 FAX.0743-63-6628



新年明けましておめでとござい
ます。天理市民の皆さまにおき
ましては、健やかに令和5年の輝
かしい新春をお迎えのことと、
心よりお慶び申し上げます。旧年
中は皆さまに格別のご支援、ご
指導を賜り、深く御礼申し上げま
す。

昨年は天理市初となる県立施設
「なら歴史芸術文化村」が開村し
ました。奈良が誇る歴史、芸術、
農、食などに触れることができる
施設として県内外から多くの方々
がこの天理へお越しにたいてい
ます。開村1年目を迎える今年、
さらなる魅力ある施設へ、また地
元ににぎわいをもたらす施設とし
て、県議会からサポートし、ソフ
ト面の充実を図ってまいります。
ロシアによるウクライナへの軍
事侵攻や、それに伴う原油高、急
激な円高と物価高など、県民の皆

奈良県議会議員 岩田国夫

様、事業者の皆様のご生活が著しく
変化を強いられた1年でもありま
した。県議会として真摯に受け止
め、今後もより一層、県民の皆様
に寄り添う政策立案や提言に努め
ていきます。

また昨年は2度目になる県議会
議長にご推挙いただき、第103
代議長に就任いたしました。県民
の皆様が開かれた、身近に感じて
いただける議会を創造していきま
す。また2025年に開催される
大阪・関西万博の開催を契機に、
奈良県のさらなる発展を目指し、
県議会として気運の醸成を図って
いきます。

新しい年の令和5年が、物価高
や新型コロナウイルスの脅威から
脱却することを心から願ひ、皆様
のご健勝とご多幸をお祈り申し上
げ、年始のご挨拶とさせていただきます。

県議会の主な視察



令和3年1月

▼ **奈良まほろば館** (移転後の取り組みなど)

▼ **東京都中央卸売市場豊洲市場** (観光振興における取り組み)

首都圏で奈良県の産物を販売するアンテナショップ「奈良まほろば館」はコロナ禍の令和2年8月に東京都港区新橋に移転し、リニューアルオープンしました。昨年1月、県議会の観光振興対策特別委員会と同館を訪れ、移転後の取り組みなどについて視察しました。

また東京都中央卸売市場豊洲市場を訪れ、観光振興にお

令和4年4月

▼ **砂防会館**
(土砂災害から住民を守る施策の最前線)

私が委員長を務める県議会建設委員会は4月、東京都千

代田区の砂防会館を訪問し、一般財団法人砂防・地すべり技術センター、一般社団法人砂防フロンティア整備推進機構で土砂災害から住民を護る施策の最前線を視察しました。

加えて、一昨年夏に27人も死者を出した「静岡県熱海市伊豆山土石流災害」に見舞われた熱海市を訪れ、市の危機管理官から土砂災害の状況や現地調査の説明を受けました。視察で得た情報や先進の防災技術を県民の安心・安全へとつなげてまいります。



「未来」への礎と生きる「今」

昨年6月、県議会の役員改選で私は、県議会の皆様のご推挙を賜り、第103代議長に就任いたしました。奈良県は、国策の大型プロジェクトになるリニア中間駅の誘致や令和12(2030)年の国体開催、そして県内第4になる世界遺産登録、そして安全・安心な防災体制など、未



来へ向けて盤石な礎を築き上げる必要がある時を迎えています。

また同時に、不安定な世界、そして経済の情勢は、県民の生活をも脅かし、県政はこれに寄り添うことが何より重要です。「未来」への礎と「今」を生きるための政策立案と執行機関の監視。県議会はこれらを高次元でバランスすることが求められています。

私はこれまでに培った国、県、市とのパイプを活用し、県

高次元バランスの県議会へ



議長就任記者会見の様子

議会の長として県勢発展に向けたあらゆる取り組みを前進させていく所存です。

天理市や近隣地域の活性化に



なら歴史文化芸術村が昨年3月オープン

天理市初の県立施設になる「なら歴史文化芸術村」が昨年3月にオープンしました。私は「天理市に県立施設を」と長年陳情してきましました。大和平野を一望できる天理市杣之内町に100億円を投じて整備したこの施設は、必ず天理市や近隣地域の活性化につながると確信しています。

令和4年10月

▶ 国民体育大会結団式

第77回国民体育大会「いちご一会 とちぎ国体」へ出場する奈良県選手団の結団式が10月、奈良市内のホテルで開かれ、議長として出席しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、国体が2年間、延期、中止になっており、「待ちに待った国体。奈良県の代表としての誇りを胸に、日頃磨いた技術と精神を十分に発揮されますように」と激励のあいさつをしました。



令和4年10月

▶ 奈良県出身戦没者慰霊

太平洋戦争中、小笠原群島や南西諸島など南方諸地域で犠牲になられた奈良県出身戦没者を慰霊する、沖縄県糸満市の「大和の塔」へ10月、ご遺族らと共に訪問し、英霊に追悼の祈りを捧げました。

大和の塔は、奈良県出身者の戦没者1万5871柱を慰霊をするため昭和42（1967）年に建立され、吉野川産の玉石が使用されています。



平城遷都1300年祭が開かれた平成22（2010）年を機に奈良県の提唱で開催された「東アジア地方政府会合」が11月、2年ぶりにインドネシア西ジャワ州バンドン市で開催され、荒井正吾知事らと共に出席しました。
会合は毎年開催されてきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大で2年延期されていました。今回はパンデミック時やその後における地域産業の振興、観光振興などをテーマに、国や地方政府83機関が意見を交換しました。また奈良県をPRするブースを設け、奈良県の観光誘致を行いました。

令和4年11月

▶ 東アジア地方政府会合

議長公務と



令和4年11月

▶ 大規模防災拠点事業開始式

南海トラフ地震などを想定した紀伊半島全体の防災拠点として県が五條市に整備を計画している「大規模防災拠点」の事業開始式が10月、計画予定地のゴルフ場で開かれ、県議会議長として出席しました。南海トラフ地震などを想定した紀伊半島全体の防災拠点として県が五條市に整備を計画している「大規模防災拠点」の事業開始式が10月、計画予定地のゴルフ場で開かれ、県議会議長として出席しました。

た。

大規模広域防災拠点は、巨大地震をはじめとした大規模災害に備え、紀伊半島全体の救援と救助の機能を担います。防災拠点としての効果を早期発現させるため、2000級級の滑走路やベースキャン



令和4年11月

▶ リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会

早期建設と奈良市附近へ停車駅設置の実現を目指す「リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会」（会長・荒井正吾知事）は11月、早期建設と奈良市附近へ停車駅設置の実現を目指す「リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会」の総会を開き、令和19（2037）年の全線開業に向け、名古屋以西の工事の早期着工を求める決議を採択しました。私は議長として出席し、同盟会と議会が連携を密に実現していく決意を述べました。

令和4年7月

▶高校野球奈良県大会開会式



令和4年8月

▶一日子ども知事



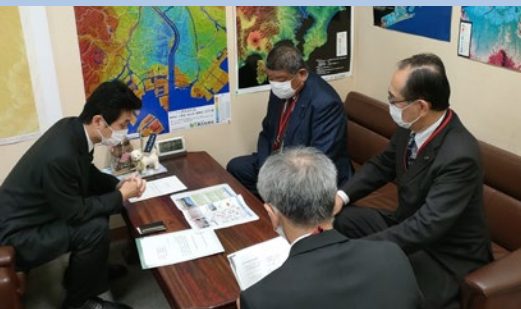
令和4年10月

▶奈良県防災総合訓練



令和4年11月

▶三県議会要望活動



令和4年11月

▶桜井市新庁舎グランドオープン



令和4年10月
▶奈良県の道路と都市公園整備の充実を求める合同県民大会

今年度4月、県内の幹線道路になる国道168号、国道169号が、国土交通省の重要物流道路に指定されました。現在事業中の8工区全てが事業区間に指定され、また県の調査路線の2カ所

が計画区間に指定されました。

県内道路整備の迅速化や充実を求める「奈良県の道路と都市公園整備の充実を求める合同県民大会」が10月に開かれ、県議会を代表して出席し、国道168号、169号の重要物流道路指定を受け、京奈和自動車道の事業促進、

令和4年11月

▶中町「道の駅」新築工事起工式

県の広域防災拠点の役割を担う奈良市石木町の中町「道の駅」が令和5(2023)年度にオープンします。11月に開かれた新築工事起工式に、県議会議長として出席しました。

中町「道の駅」は、大規模災害時に自衛隊や消防の活動

拠点になり、県北部の防災力向上に期待されています。

3・4畝の面積に257台の駐車場、4棟の建物を建設します。通常は県産農産物を扱う直売所、レストランやカフェが営業される予定です。

令和4年11月

▶奈良県美術展覧会表彰式

奈良県美術展覧会(県展)表彰式が11月に開催され、県議会を代表して伺いました。県展は多くの人に親しまれ今

紀伊半島アンカールート整備をはじめ、県土の均衡ある発展を求めて、努力していく決意を述べました。

令和4年9月

▶奈良県戦没者追悼式

奈良県戦没者追悼式が9月に執り行われ、県議会を代表して追悼の辞を申し上げます。先の大戦では、県出身者の2万7000人の方々が、祖国の安寧と家族の平安を念じて危地に赴かれ、お亡くな

回で73回を迎え、県の芸術、文化振興の気運を高める役割を果たしてこられました。今後も県展がより一層の充実と発展を遂げられ、芸術文化が人々のより身近になることを



第73回奈良県美術展覧会表彰式

祈念し、あいさつさせていただきました。

りになりました。これら戦没者の御霊に哀悼の誠を捧げました。先人がもたらした平和で豊かな今の奈良のため、一層の努力を重ねていくことをご遺族にお約束いたしました。



後援会のご案内

後援会のご入会と、皆さま方からのご意見ご要望をお待ちいたしております。

TEL 〇七四三(六三)六二二〇
FAX 〇七四三(六三)六六二八